

■ 令和6年度 入間市水道事業報告（総括事項） ■

● 業務概況 ●

本年度は、安全な水の安定供給を図る為、水道施設の整備を進めるとともに水道施設維持管理や水質検査を適切に実施しました。

年度末における給水戸数は69, 555戸、給水人口は142, 865人となり、配水量は、16, 181, 990m³で、前年度に比べ285, 710m³(1.80%)の増加となりました。なお、有収水量は、15, 346, 526m³で、有収率は94.84%、鍵山浄水場における自己水確保率は23.25%となりました。

● 収益的収入・支出 ●

財政状況については、水道事業収益が3, 110, 061, 570円（税抜額2, 858, 399, 589円）で予算現額3, 160, 525, 000円に対して98.40%の執行率となりました。

このうち水道事業の主財源となる給水収益は、2, 618, 374, 920円（税抜額2, 380, 371, 725円）と前年度に比べ79, 226, 340円の増となりました。

一方、水道事業費用については、2, 803, 847, 218円（税抜額2, 636, 040, 819円）で、予算現額3, 018, 752, 000円に対し92.88%の執行率となりました。

以上の結果、水道事業収益（税抜額）から水道事業費用（税抜額）を差引き、当年度純利益として222, 358, 770円を計上することができました。

● 資本的収入・支出 ●

建設改良工事を主な目的とする資本的収入・支出では、市道B322号線配水管布設替工事、、西武支所線バックアップ管整備工事（第三工区－1）等を実施しました。継続事業として令和4年度から実施してきた鍵山浄水場改修工事、令和5年度から実施してきた藤沢配水場改修工事については工事を完了し、また、令和7年度までの継続事業として下山団地内配水管布設替工事（第一工区）については、引き続き実施していきます。

執行状況については、収入額が383, 957, 224円で、予算現額603, 101, 000円に対して63.66%の執行率となりました。

支出額は1, 257, 667, 234円で予算現額1, 927, 593, 000円に対して65.25%の執行率となりました。

この結果、資本的収入額（前年度支出の財源に充当する令和4・5年度同意済企業債借入額125, 100, 000円を除く。）が資本的支出額に不足する額998, 810, 010円は、過年度分損益勘定留保資金等で933, 210, 010円を補てんし、さらに、不足する額65, 600, 000円（未払相当分）については、令和6年度同意済企業債の未発行分より翌年度に措置するものとします。

■ 給水人口と年間総配水量 ■

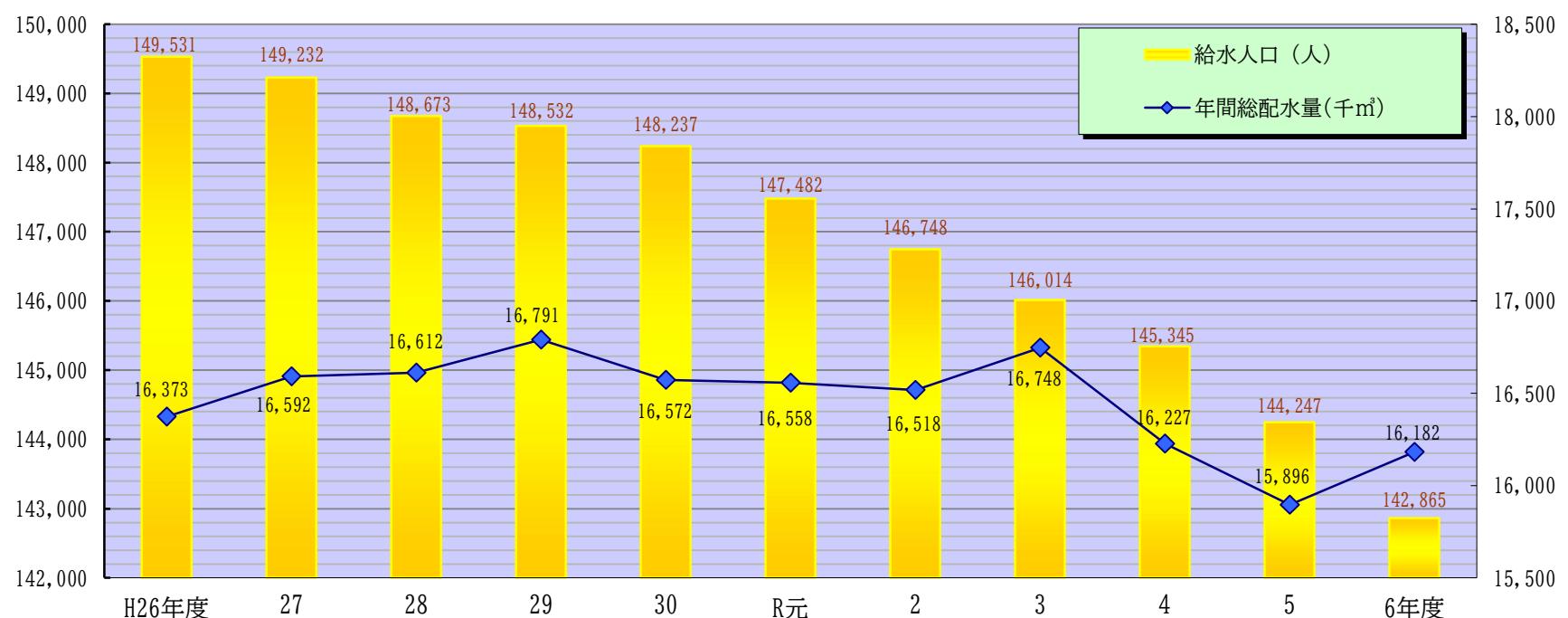
● 給水人口とは・・・●

給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口をいいます。

● 年間総配水量とは・・・●

配水場や浄水場から送り出された水道水の全水量をいいます。

給水人口と年間総配水量の推移



■ 年間総配水量・年間有収水量・有収率 ■

● 年間総配水量とは・・・

配水場や浄水場から送り出された水道水の全水量を表しています。

● 年間有収水量とは・・・

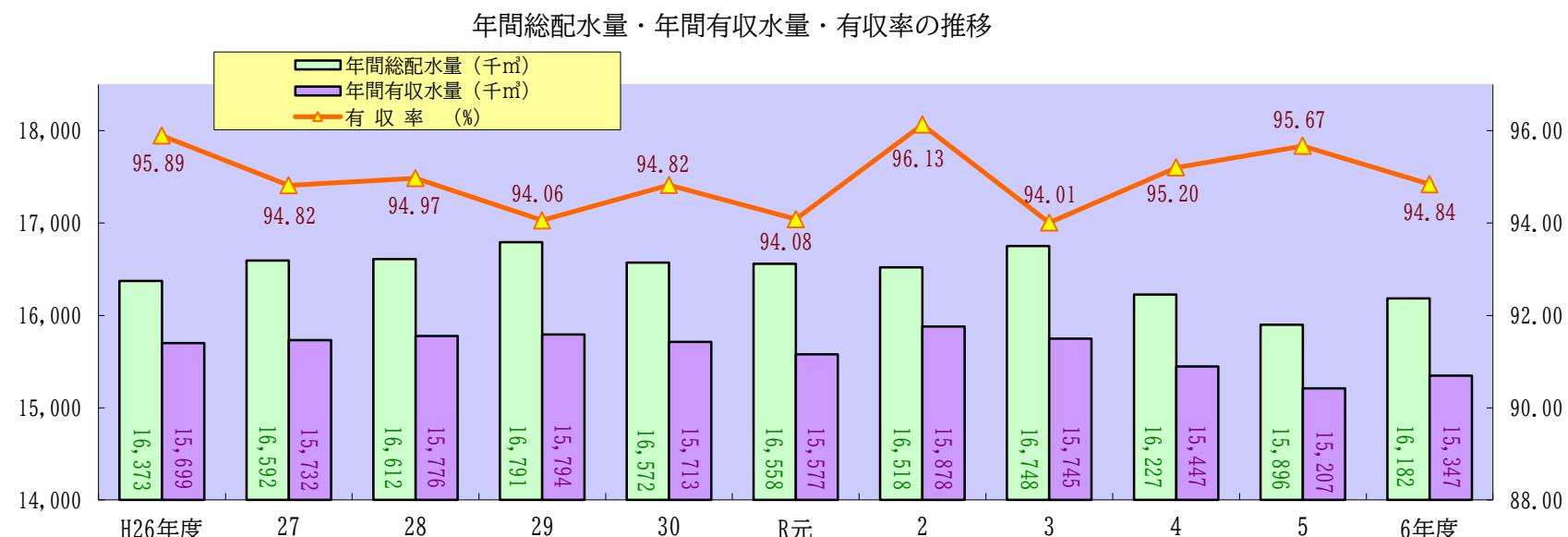
お客様のご家庭や工場で使用され、料金収入を得ることのできた水量を表しています。

料金収入にならないものを無収水量といい、漏水や水道事業用に使われた水などが該当します。

● 有収率とは・・・

有収率 = 有収水量 ÷ 年間総配水量 × 100

水道水全体のうち、有収水量の率を表すものです。



■ 給水原価と供給単価 ■

● 給水原価とは・・・●

お客様にお届けする水道水 1 m³あたりについて、どれだけ費用がかかっているかを表しています。

$$\text{給水原価} = \{\text{経常費用} - \text{受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費}\} \div \text{年間総有収水量}$$

※1 地方公営企業会計制度の改正に伴い、給水原価の算出式が変更となり、平成26年度の決算書の記載数値より変更となっています。（平成26年度決算書数値 160.83）

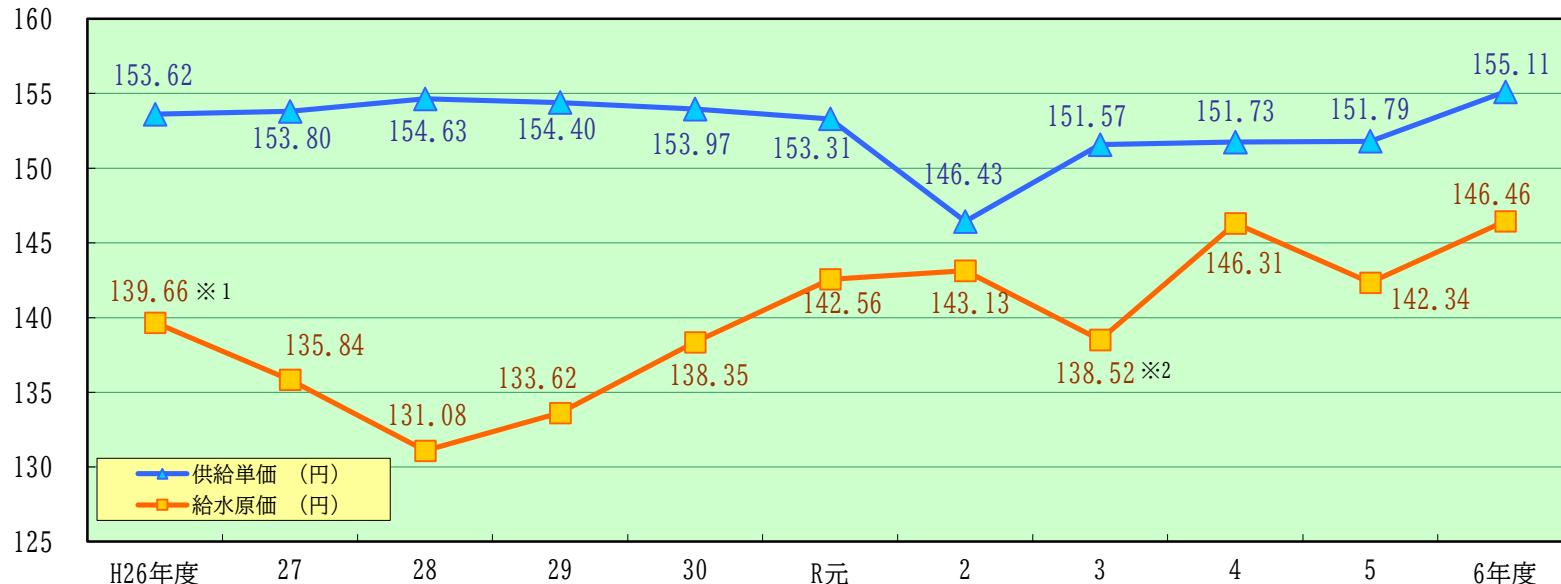
※2 令和3年度より下水道事業関連費用を除く

● 供給単価とは・・・●

お客様にお届けした水道水 1 m³あたりについて、どれだけ収益を得ているかを表しています。

$$\text{供給単価} = \text{給水収益} \div \text{年間総有収水量}$$

給水原価と供給単価の推移



■ 給水契約数（口径別） ■

● 口径 13mm と 20mm の給水契約数の推移 ●

一般家庭が主に使用している量水器の口径は、13mmと20mmです。

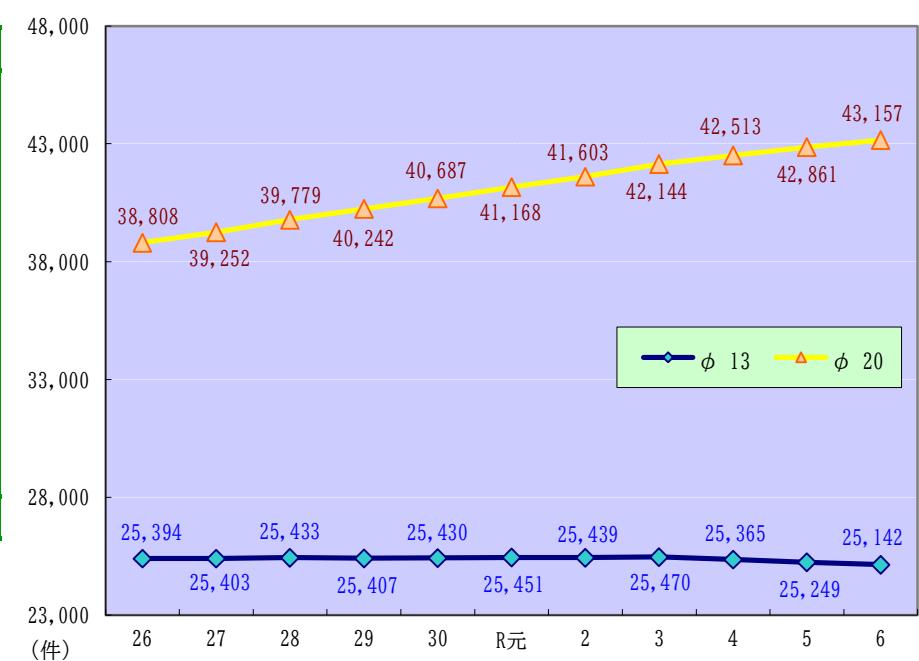
最近では20mmの契約者が増加傾向にあります。

口径別給水契約数

(単位：件)

年度	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6
φ 13	25,394	25,403	25,433	25,407	25,430	25,451	25,439	25,470	25,365	25,249	25,142
φ 20	38,808	39,252	39,779	40,242	40,687	41,168	41,603	42,144	42,513	42,861	43,157
φ 25	682	684	693	692	703	697	694	695	691	686	694
φ 30	148	146	151	153	155	159	159	163	163	168	163
φ 40	148	153	153	160	163	156	161	163	163	163	164
φ 50	67	66	68	71	72	77	77	79	79	82	83
φ 75	73	71	72	72	72	72	69	69	69	67	67
φ 100	9	9	9	9	10	11	12	12	12	12	12
φ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	5	14	25	30	21	26	27	43	46	45	72
合 計	65,334	65,798	66,383	66,836	67,313	67,817	68,241	68,838	69,101	69,334	69,555

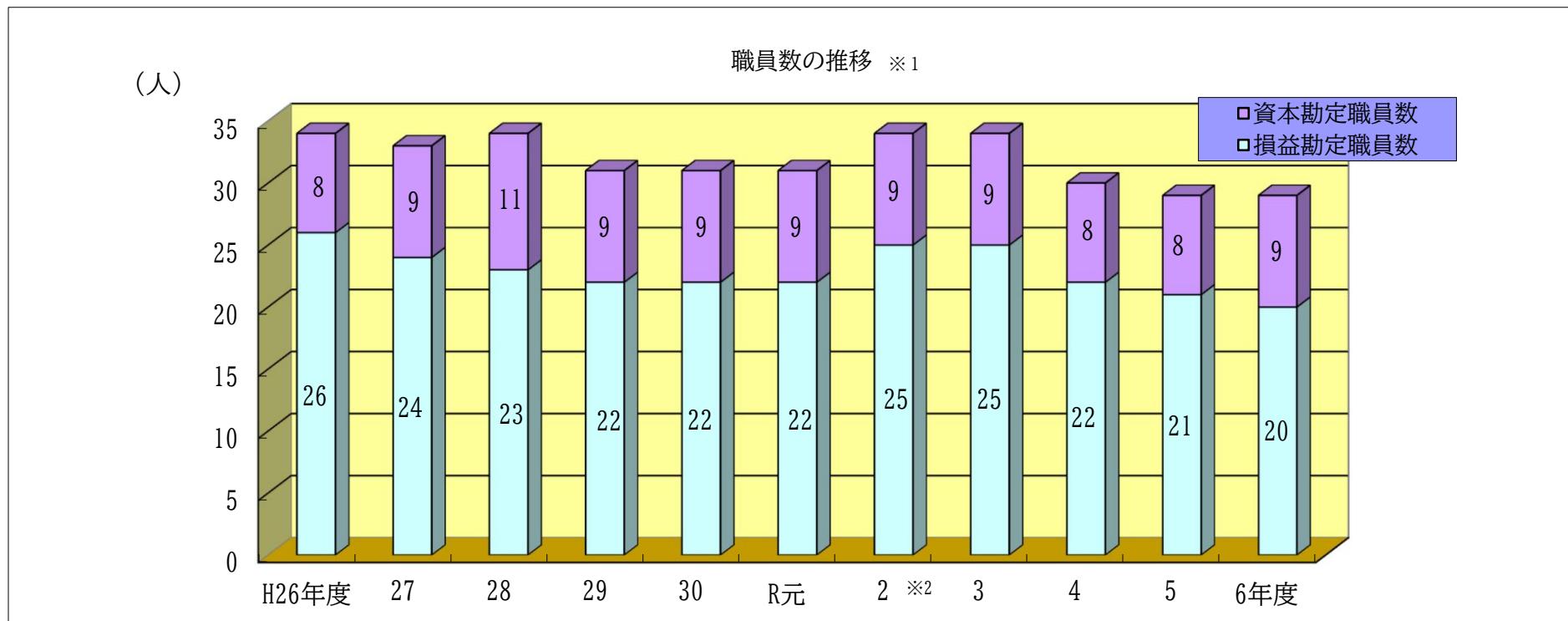
給水契約数（φ13・φ20）の推移



■ 職員数 ■

● 職員数の推移 ●

水道事業では事業効率化のため、人件費の抑制に努めています。



※1 水道事業管理者を除く。

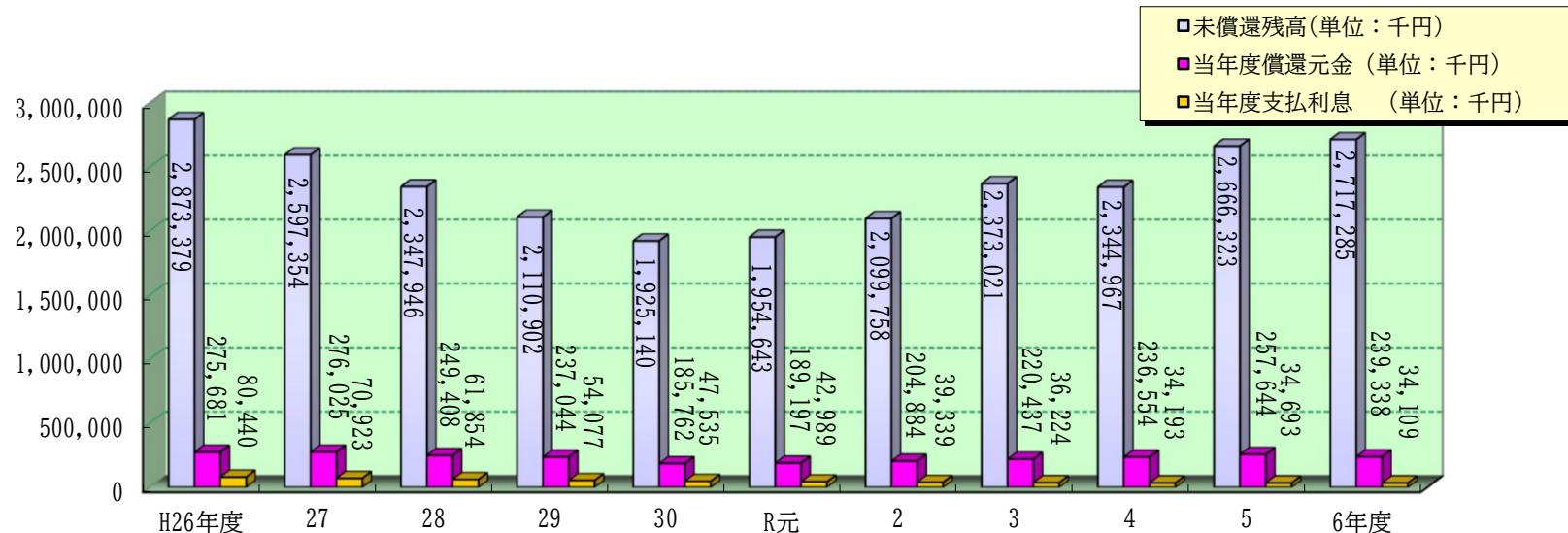
※2 令和2年度から、再任用短時間勤務職員及びパートタイムの会計年度任用職員を含む。

■ 企業債（借入資金） ■

● 企業債（借入資金）とは・・・

水道施設（配水場や浄水場）を新たに建設したり、配水管を布設するなどの建設改良事業に要する資金に充てるために借りるお金のことをいいます。

企業債（借入資金）の推移



● 未償還残高とは・・・

年度末において、まだ返済していない借入金の合計残高のことをいいます。

● 当年度償還元金とは・・・

その年度に返済した元金のことをいいます。

● 当年度支払利息とは・・・

その年度に支払った借入金の利息のことをいいます。

■ 損益計算書 ■

● 損益計算書とは・・・●

一定期間における企業の経営成績を明らかにするための報告書のことをいいます。

令和6年度入間市水道事業損益計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円、税抜)

1	営業収益			
	(1) 給水収益	2,380,371,725		
	(2) その他の営業収益	<u>159,413,955</u>	2,539,785,680	
2	営業費用			
	(1) 原水及び浄水費	1,001,690,299		
	(2) 配水費	319,648,979		
	(3) 給水費	80,272,673		
	(4) 委員会費	95,410		
	(5) 業務費	166,587,304		
	(6) 総係費	71,978,764		
	(7) 減価償却費	945,036,256		
	(8) 資産減耗費	<u>16,157,302</u>	<u>2,601,466,987</u>	
	営業損失			61,681,307
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	969,656		
	(2) 長期前受金戻入	314,452,902		
	(3) 雑収益	<u>2,041,099</u>	317,463,657	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	34,108,410		
	(2) 雑支出	<u>58,407</u>	<u>34,166,817</u>	<u>283,296,840</u>
	経常利益			221,615,533

5	特別利益			
	(1) 過年度損益修正益	476,010		
	(2) その他特別利益	<u>674,242</u>	1,150,252	
6	特別損失			
	(1) 過年度損益修正損	<u>407,015</u>	407,015	743,237
	当年度純利益			<u>222,358,770</u>
	その他未処分利益剰余金変動額			<u>207,101,572</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u>429,460,342</u>

■ 貸借対照表 ■

● 貸借対照表とは・・・●

一定時点における企業の財政状態を明らかにするための報告書のことをいいます。

令和6年度入間市水道事業貸借対照表

(令和7年3月31日)

(単位：円、税抜)

資 産 の 部

1	固定資産				
(1)	有形固定資産				
イ	土地		1,370,403,349		
ロ	建物	2,154,513,482			
	減価償却累計額	△ 1,201,514,116	952,999,366		
ハ	構築物	34,768,926,196			
	減価償却累計額	△ 16,594,095,637	18,174,830,559		
ニ	機械及び装置	6,236,007,340			
	減価償却累計額	△ 3,282,725,230	2,953,282,110		
ホ	車両運搬具	30,702,104			
	減価償却累計額	△ 28,624,190	2,077,914		
ヘ	工具器具及び備品	105,528,115			
	減価償却累計額	△ 86,777,522	18,750,593		
ト	建設仮勘定		150,691,670		
	有形固定資産合計			23,623,035,561	
(2)	無形固定資産				
イ	電話加入権		650,000		
	無形固定資産合計			650,000	
(3)	投資その他の資産				
イ	投資有価証券		400,000,000		
	投資その他の資産合計			400,000,000	
	固定資産合計				24,023,685,561

2	流動資産		
(1)	現金預金	2,170,456,714	
(2)	未収金	127,876,055	
	貸倒引当金	<u>△ 1,251,000</u>	
(3)	貯蔵品	126,625,055	
(4)	前払金	29,749,621	
	流動資産合計	<u>145,700,000</u>	
	資産合計	<u>2,472,531,390</u>	
		<u>26,496,216,951</u>	
負債の部			
3	固定負債		
(1)	企業債		
イ	建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,474,869,105	
(2)	引当金		
イ	修繕引当金	<u>26,575,479</u>	
	固定負債合計	<u>2,501,444,584</u>	
4	流動負債		
(1)	企業債		
イ	建設改良費等の財源に充てるための企業債	242,416,291	
(2)	未払金	420,530,315	
(3)	引当金		
イ	賞与引当金	17,053,000	
ロ	法定福利費引当金	<u>3,425,000</u>	
(4)	預り金		
	流動負債合計	<u>124,408,465</u>	
		<u>807,833,071</u>	
5	繰延収益		
(1)	長期前受金	16,406,921,020	
(2)	長期前受金収益化累計額	<u>△ 10,174,689,410</u>	
	繰延収益合計	<u>6,232,231,610</u>	
	負債合計	<u>9,541,509,265</u>	

資	本	の	部			
6	資本金					
	(1) 自己資本金				<u>15,267,984,978</u>	
	資本金合計					15,267,984,978
7	剩余金					
	(1) 資本剩余金					
イ	受贈財産評価額				150,330,024	
ロ	寄附金				334,129,996	
ハ	浄水分与補償金				1,820,000	
ニ	工事負担金				71,831,814	
ホ	他会計負担金				237,000,132	
ヘ	水道利用加入金				439,628,711	
ト	国庫補助金				<u>22,521,689</u>	
	資本剩余金合計					1,257,262,366
(2)	利益剩余金					
イ	当年度未処分利益剩余金				<u>429,460,342</u>	
	利益剩余金合計					<u>429,460,342</u>
	剩余金合計					1,686,722,708
	資本合計					<u>16,954,707,686</u>
	負債資本合計					<u>26,496,216,951</u>

■ キャッシュ・フロー計算書 ■

● キャッシュ・フロー計算書とは・・・ ●

一定期間におけるキャッシュ（現金や容易に換金可能な預金など）の増減を示した計算書のことをいいます。

令和6年度 入間市水道事業会計キャッシュ・フロー計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

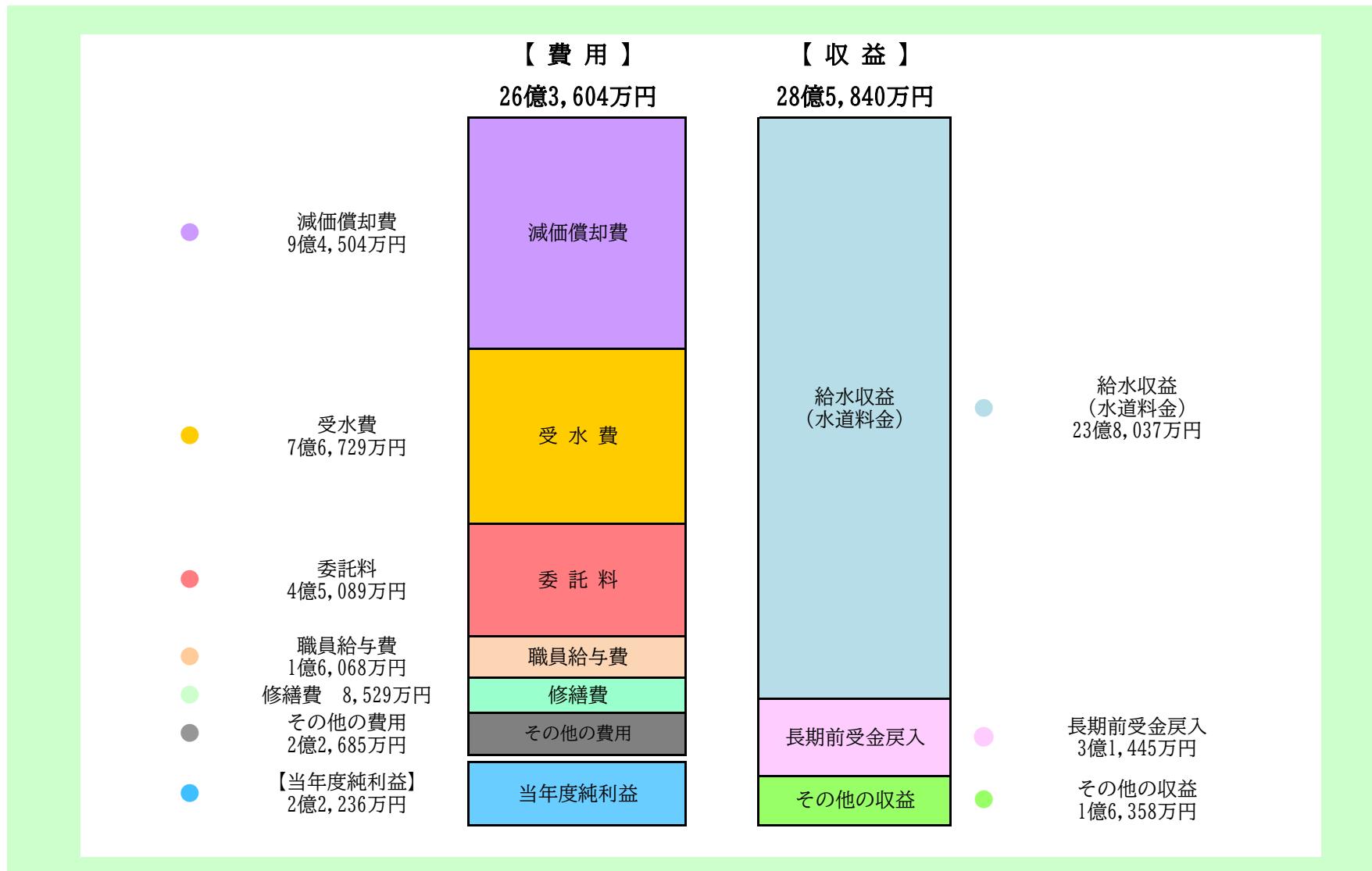
当年度純利益（△は純損失）	222,358,770
減価償却費	945,036,256
固定資産除却費	16,154,452
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,329,000
法定福利費引当金の増減額（△は減少）	277,000
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△ 497,000
長期前受金戻入額	△ 314,452,902
受取利息	△ 969,656
支払利息	34,108,410
未収金の増減額（△は増加）	106,220,121
未払金の増減額（△は減少）	32,323,572
貯蔵品の増減額（△は増加）	△ 1,058,410
預り金の増減額	6,659,112
小計	1,047,488,725
利息の受取額	969,656
利息の支払額	△ 34,108,410
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,014,349,971

2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 822,876,013
	国庫補助金等による収入	77,953,624
	一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	11,560,000
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 733,362,389
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	290,300,000
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 239,337,775
	財務活動によるキャッシュ・フロー	50,962,225
	資金増加額（又は減少額）	331,949,807
	資金期首残高	1,838,506,907
	資金期末残高	2,170,456,714

■ 収益的収支の状況（損益計算に関する収支の状況）【税抜】 ■

● 収益的収支とは・・・ ●

収益的収支とは、予算事項のひとつである収益的収入及び支出で、水道事業の経営活動によって発生する収入とこれに対応する支出をいいます。収益的収入及び支出は、消費税込みで表示されますが、実質的な経営成績を表示するため、ここでは消費税抜きの金額である収益、費用を計上しました。

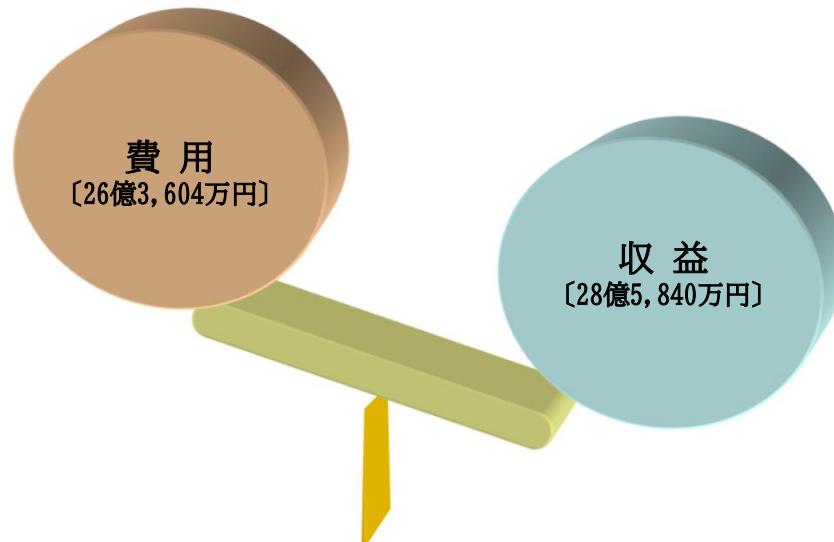


費用とは…

- ・収益を得るために必要となつた支出。
- ・入間市では受水費と減価償却費の割合が高くなっています。

収益とは…

- ・水道事業の経営活動から生じる収入。
- ・水道料金の収入（給水収益）が大部分を占めています。



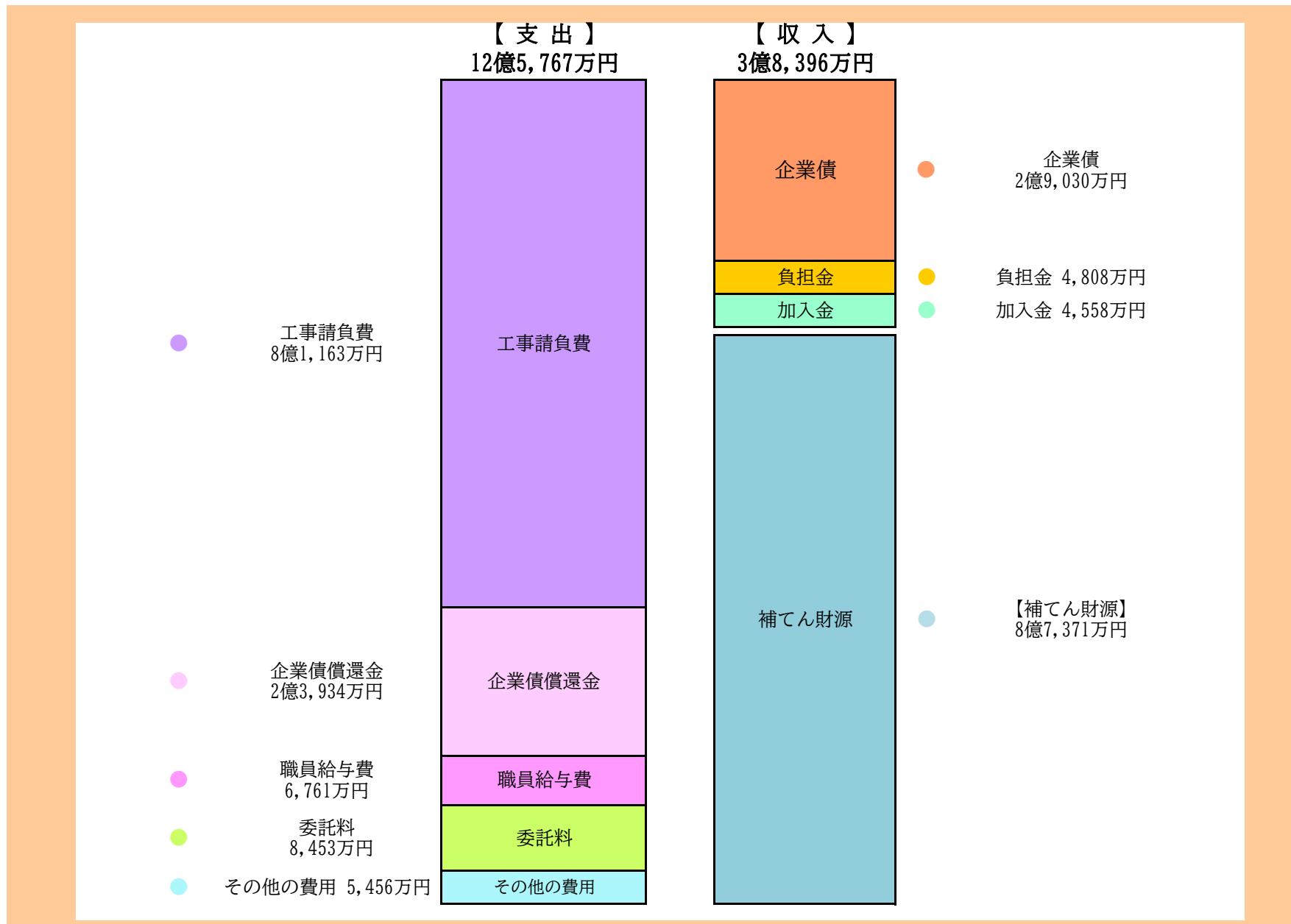
損益収支

令和6年度決算は 約2億2,236万円の黒字となりました。

■ 資本的収支の状況（建設改良に関する収支の状況）【税込】 ■

● 資本的収支とは・・・

資本的収支とは、予算事項のひとつである資本的収入及び支出で、将来における経済活動に備えて行う建設改良や、この建設改良に係る企業債の償還元金等の支出と、その財源となる収入を表しています。
不足する額は、内部に貯えられた資金など（補てん財源）で補われます。



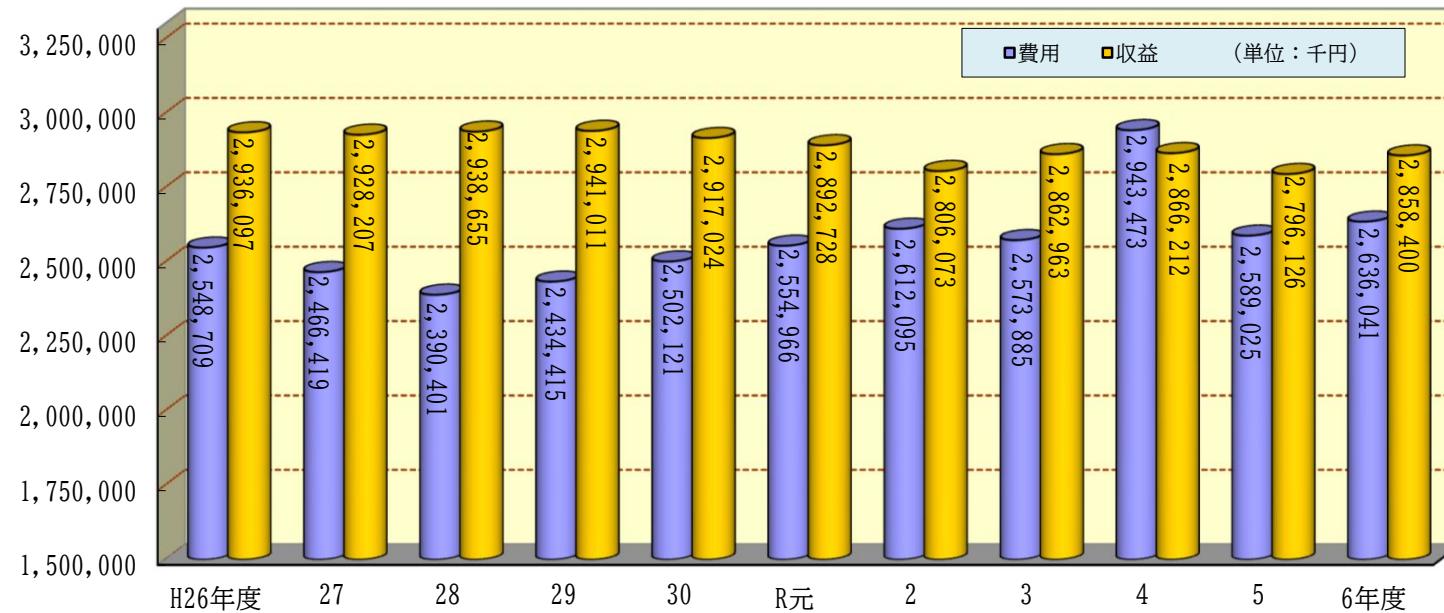
■ 収益と費用【税抜】 ■

● 収益とは・・・ ●

水道事業の経営活動から生じる収入です。

● 費用とは・・・ ●

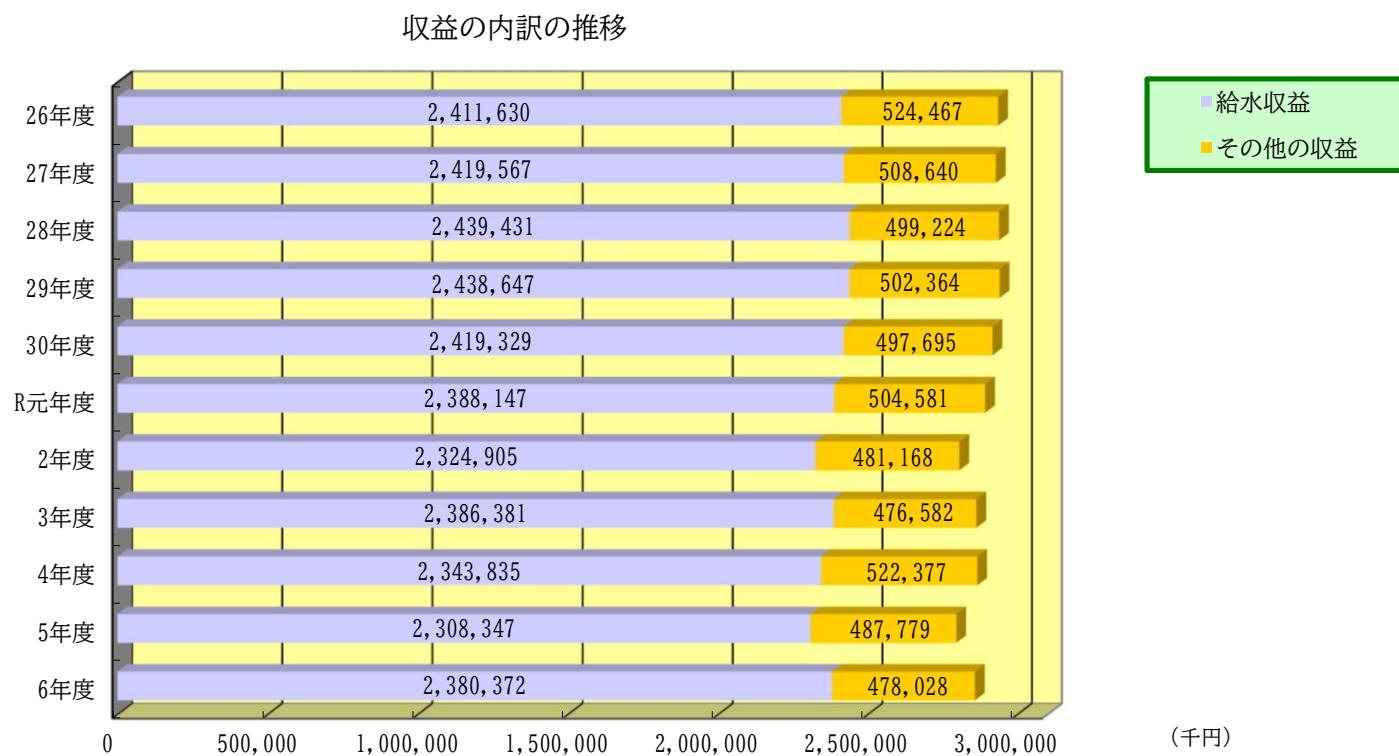
収益を得るために必要となった支出です。



■ 収益の内訳 ■

● 収益の内訳 ●

総収益に対する主な収益の構成は下のグラフのとおりです。



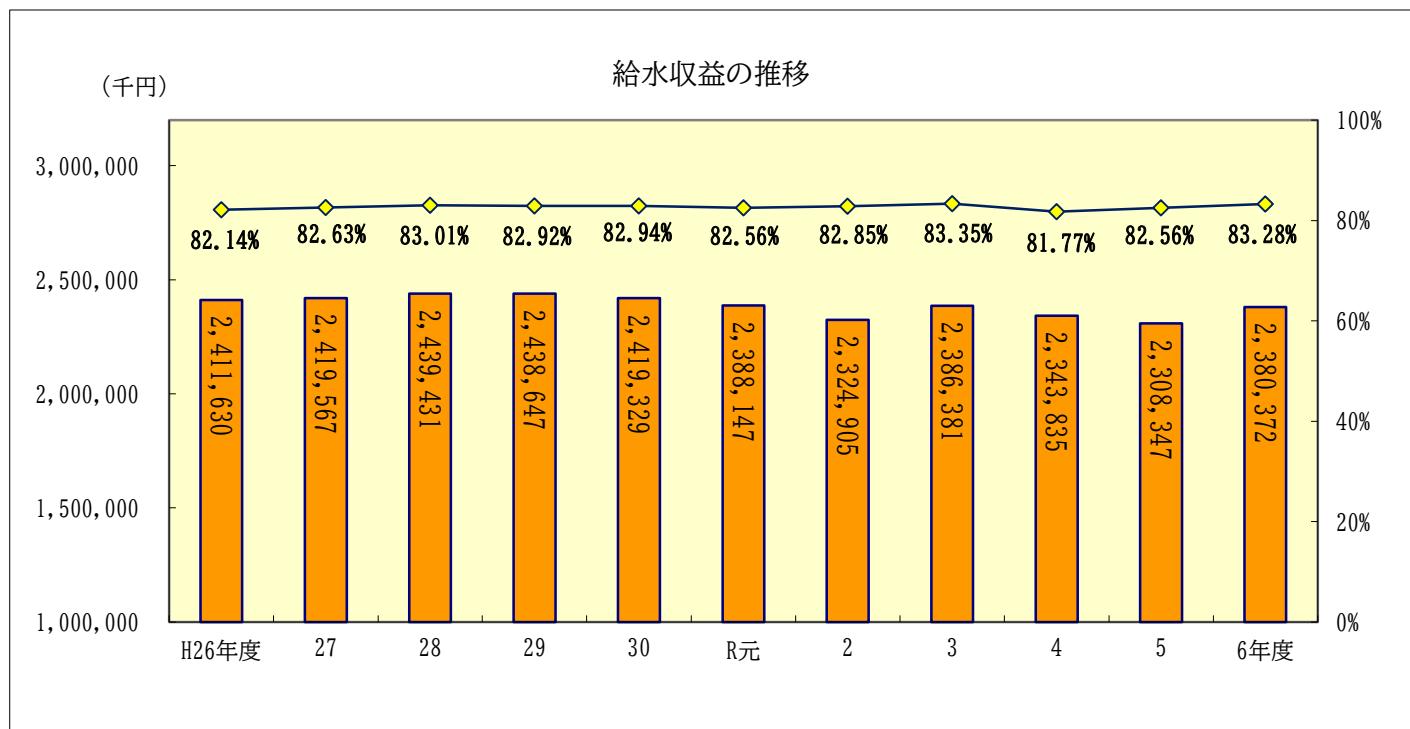
■ 給水収益（水道料金収入） ■

● 給水収益（水道料金収入）とは・・・●

給水収益とは、使用者のみなさまからお支払いただく水道料金のことをいいます。

この水道料金によって水道水を供給する施設の改良や維持のための諸経費がまかなわれ、水道事業が成り立っています。

なお、比率（%）は、総収益に対する比率を表しています。



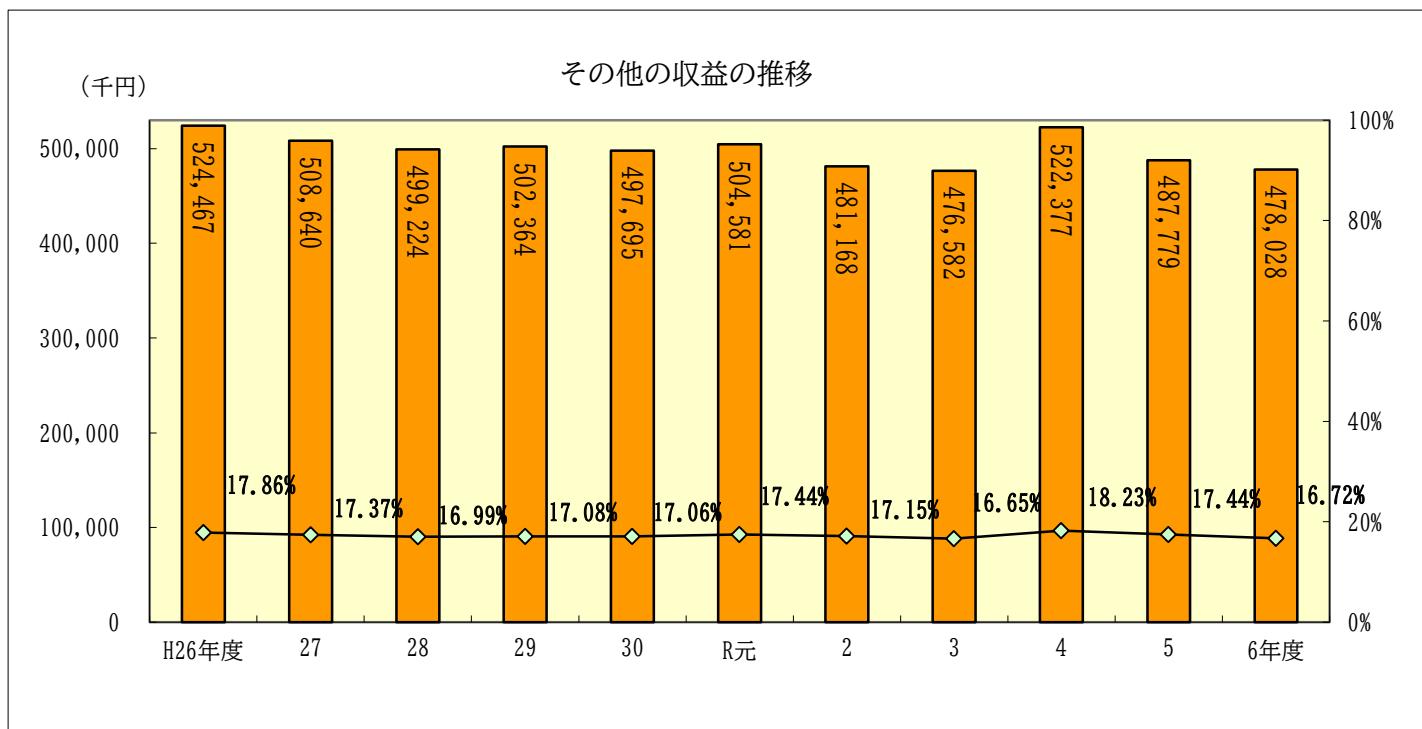
■ その他の収益 ■

● その他の収益とは・・・ ●

給水収益（水道料金収入）以外の収益で、水道利用加入金、手数料などがあります。

なお、平成26年度から新会計基準適用に伴って長期前受金戻入が計上されるようになりました。

比率（%）は、総収益に対する比率を表しています。



■ 費用の内訳 ■

● 費用の内訳 ●

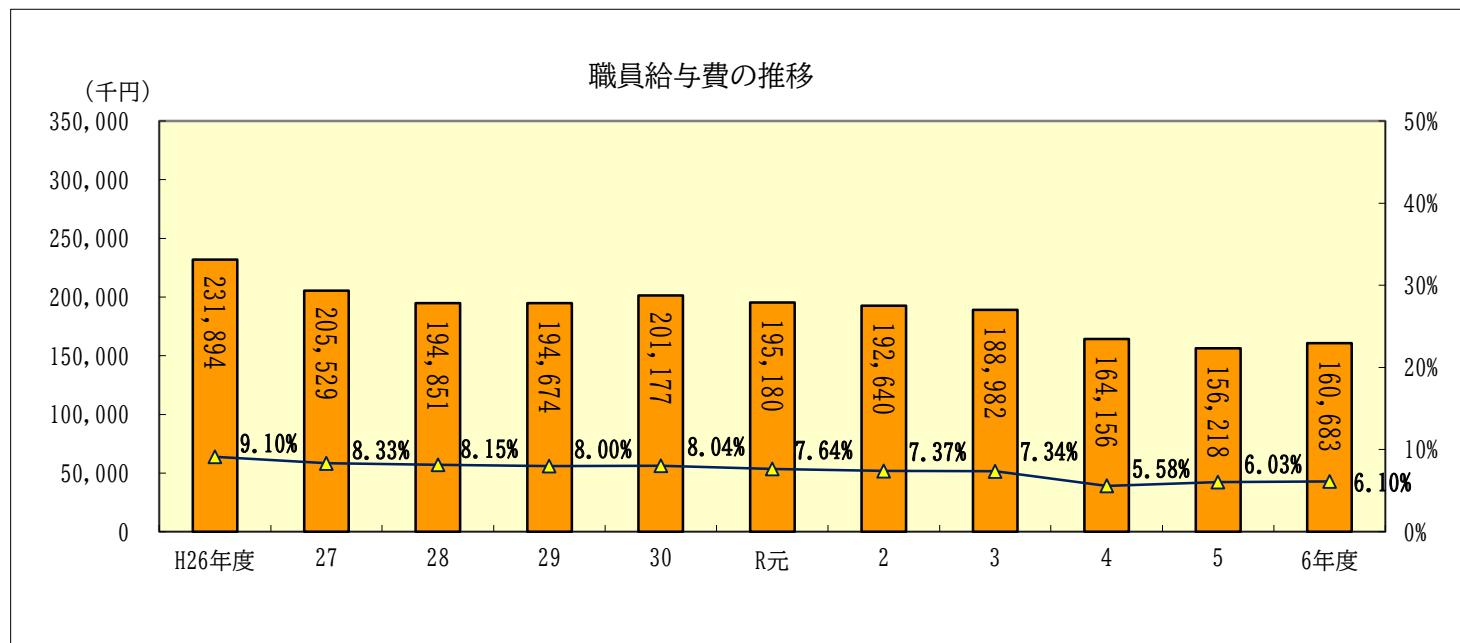
総費用に対する主な費用の構成は下のグラフのとおりです。

なお、以下、費用に関する比率（%）は、総費用に対する比率を表しています。

■ 職員給与費 ■

● 職員給与費とは・・・ ●

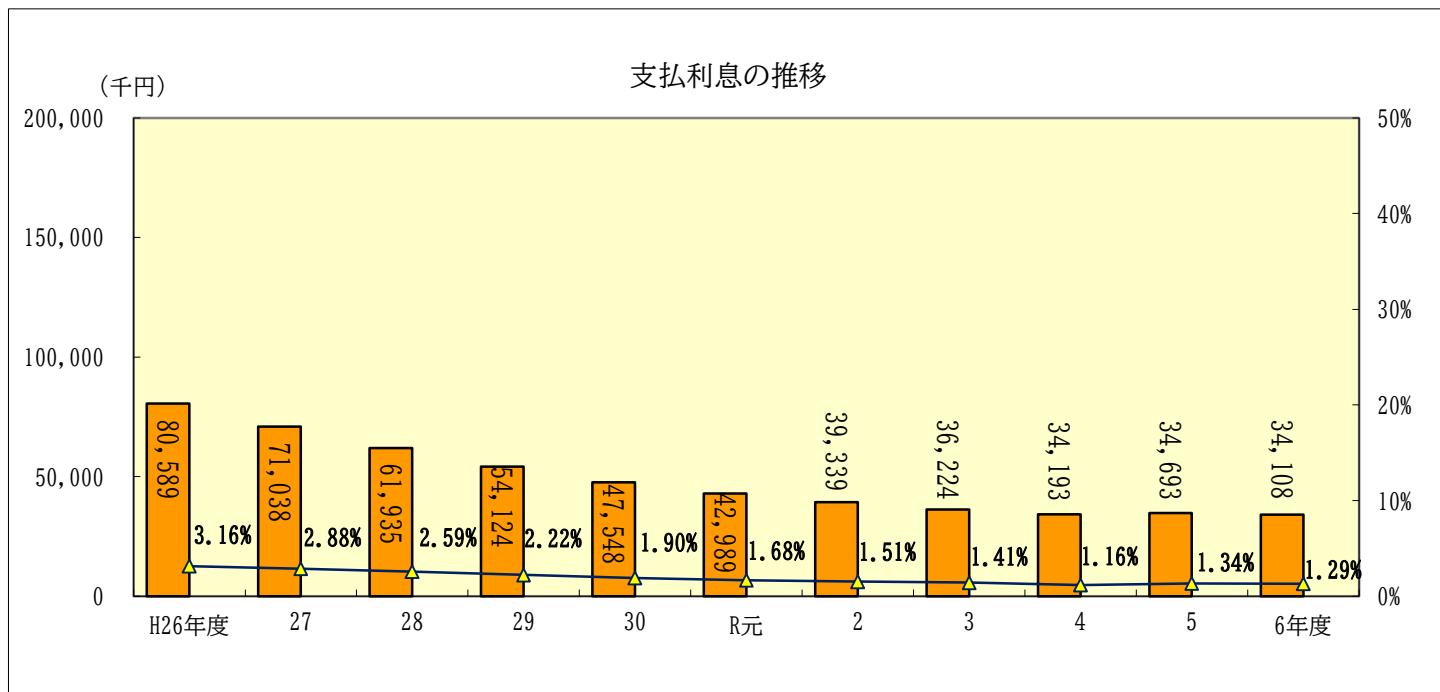
職員に支給される報酬を給与といい、給料と諸手当等から構成されています。



■ 支払利息 ■

● 支 払 利 息 と は · · · ●

企業債(借入資金)について支払う利息のことをいいます。



■ 減価償却費 ■

● 減価償却費とは・・・

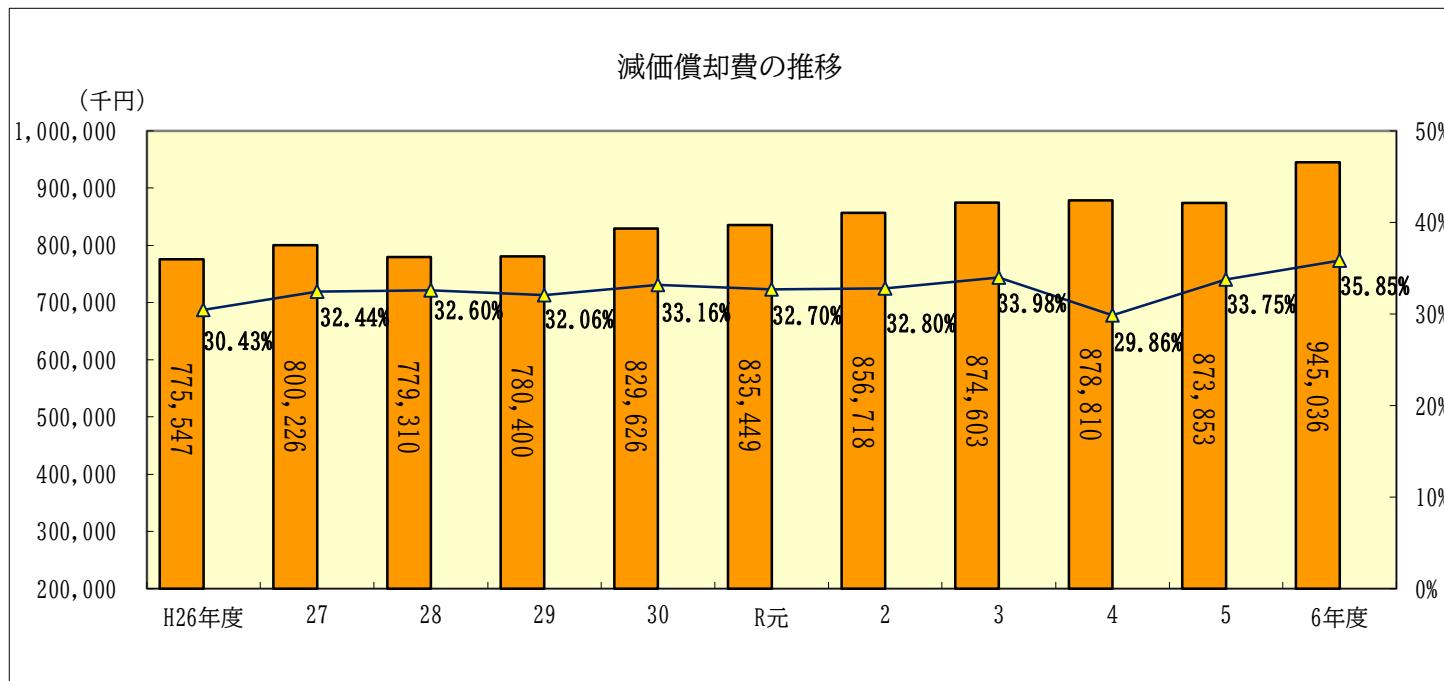
水道事業を経営するためには、送配水管、機械設備など設備投資に莫大な費用がかかります。

減価償却費は、この水道設備等の寿命に応じて費用とするものです。

入間市は、起伏に富んだ地形のため、お客様のお宅に水を送るためには、常に機械で水圧をかけ続けなければなりません。

このため、平坦な地形の他市町村に比べ、水道設備がより多く必要になる傾向があります。

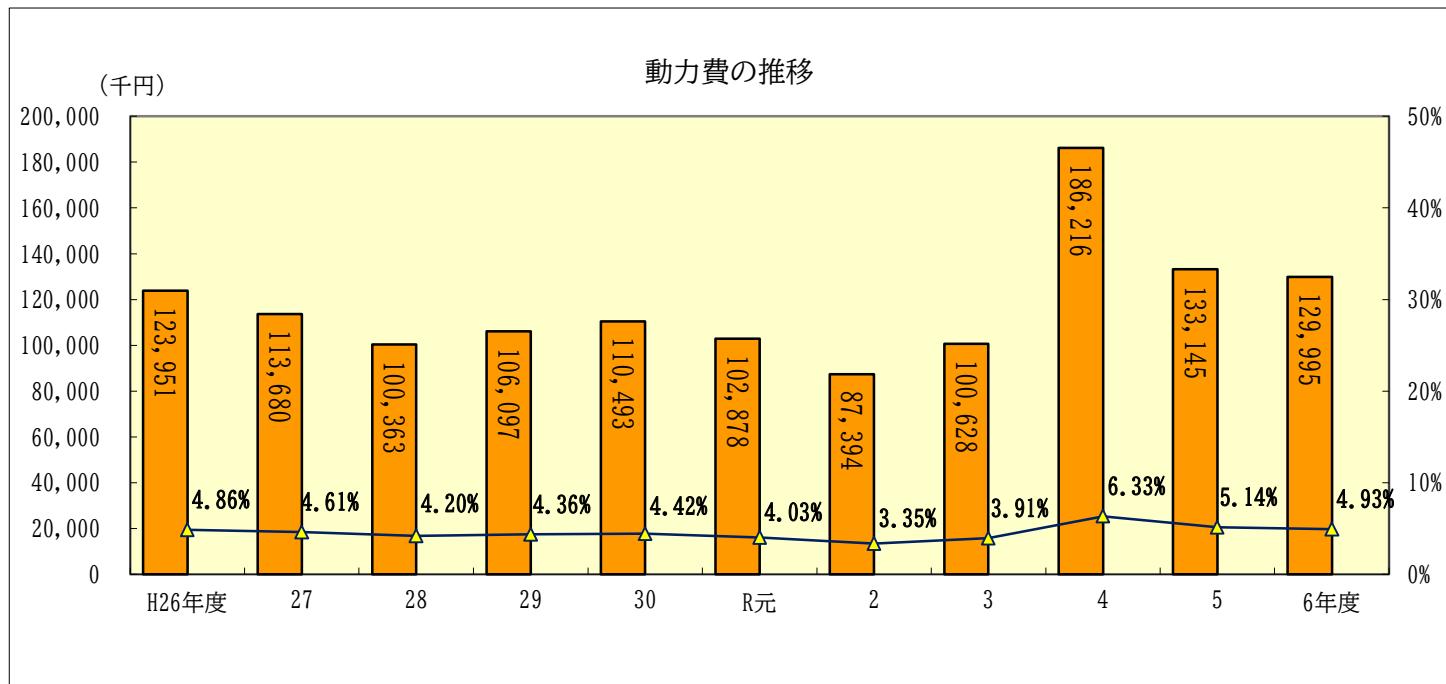
また、入間市の水道事業が、町村合併を経て、低い地域（鍵山浄水場）から次第に高い地域へ拡大普及していくことも設備投資の増大を招く大きな要因になっています。



■ 動力費 ■

● 動力費とは・・・●

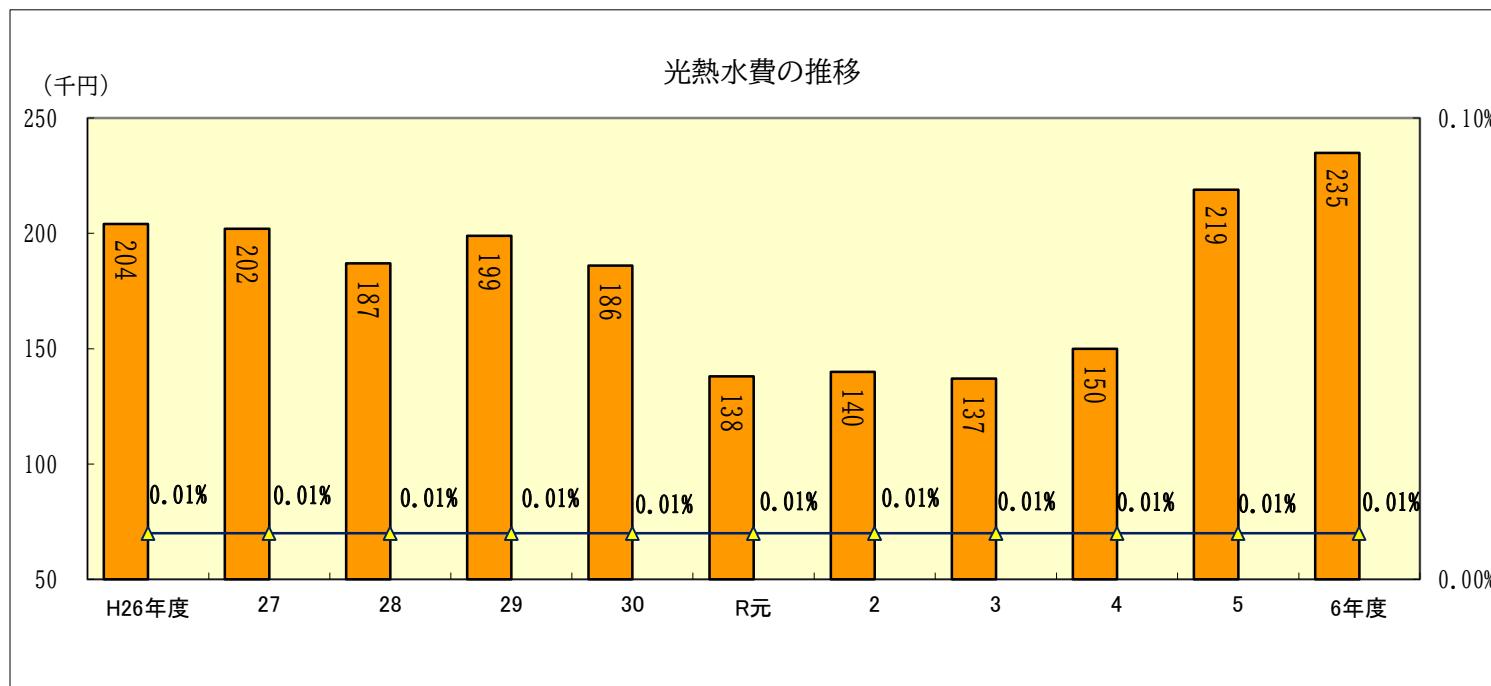
水道施設の機械装置等の運転に必要な電力料などをいいます。



■ 光熱水費 ■

● 光熱水費とは・・・ ●

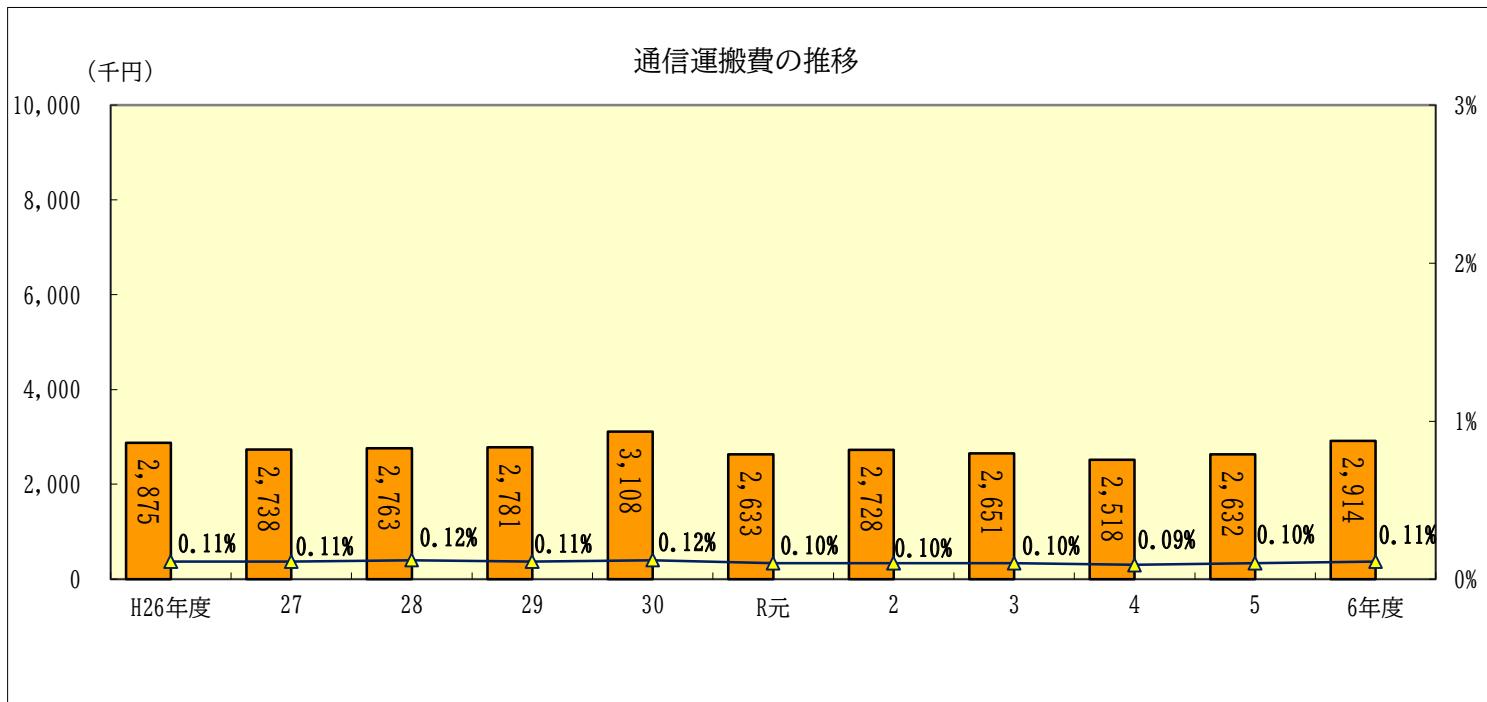
水道事業を経営するための電気使用料やガス使用料のことをいいます。



■ 通信運搬費 ■

● 通信運搬費とは・・・ ●

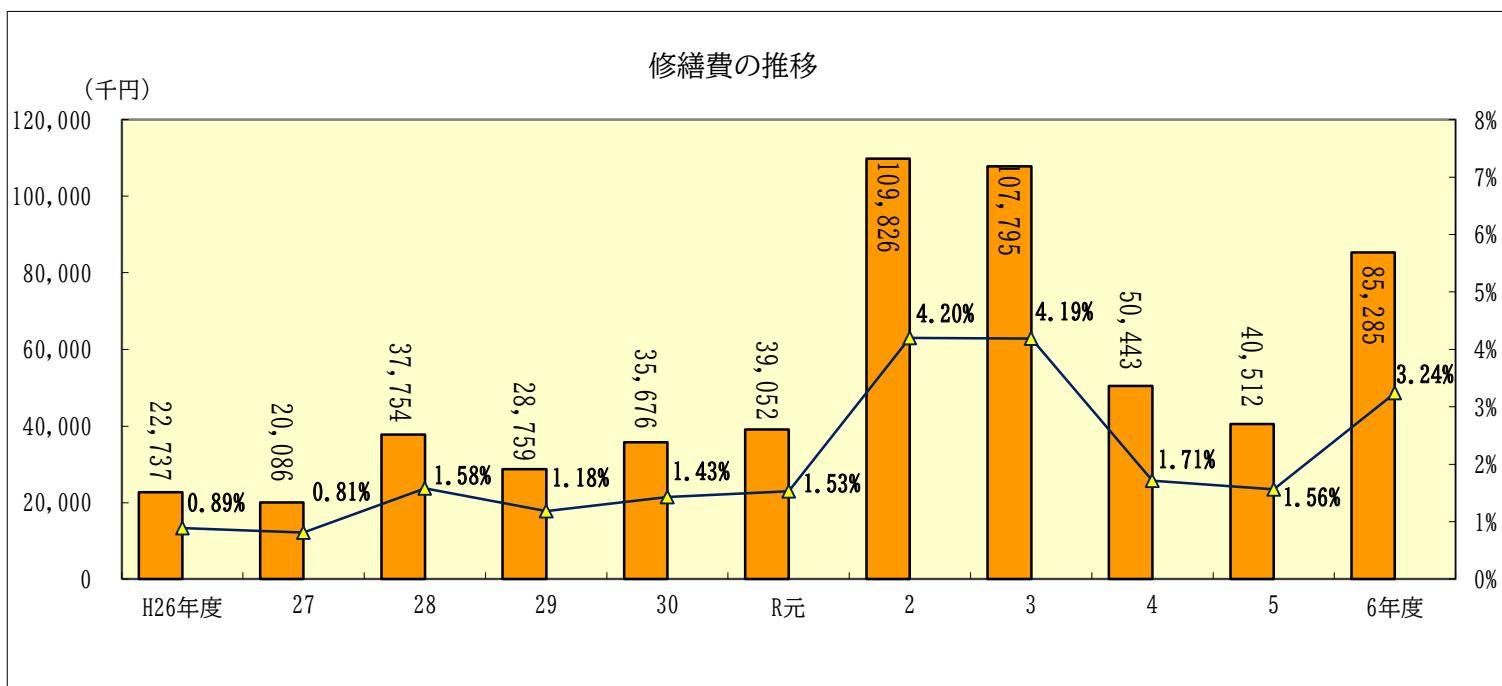
水道事業を経営するための郵便料・電信電話料などをいいます。



■ 修繕費 ■

● 修繕費とは・・・ ●

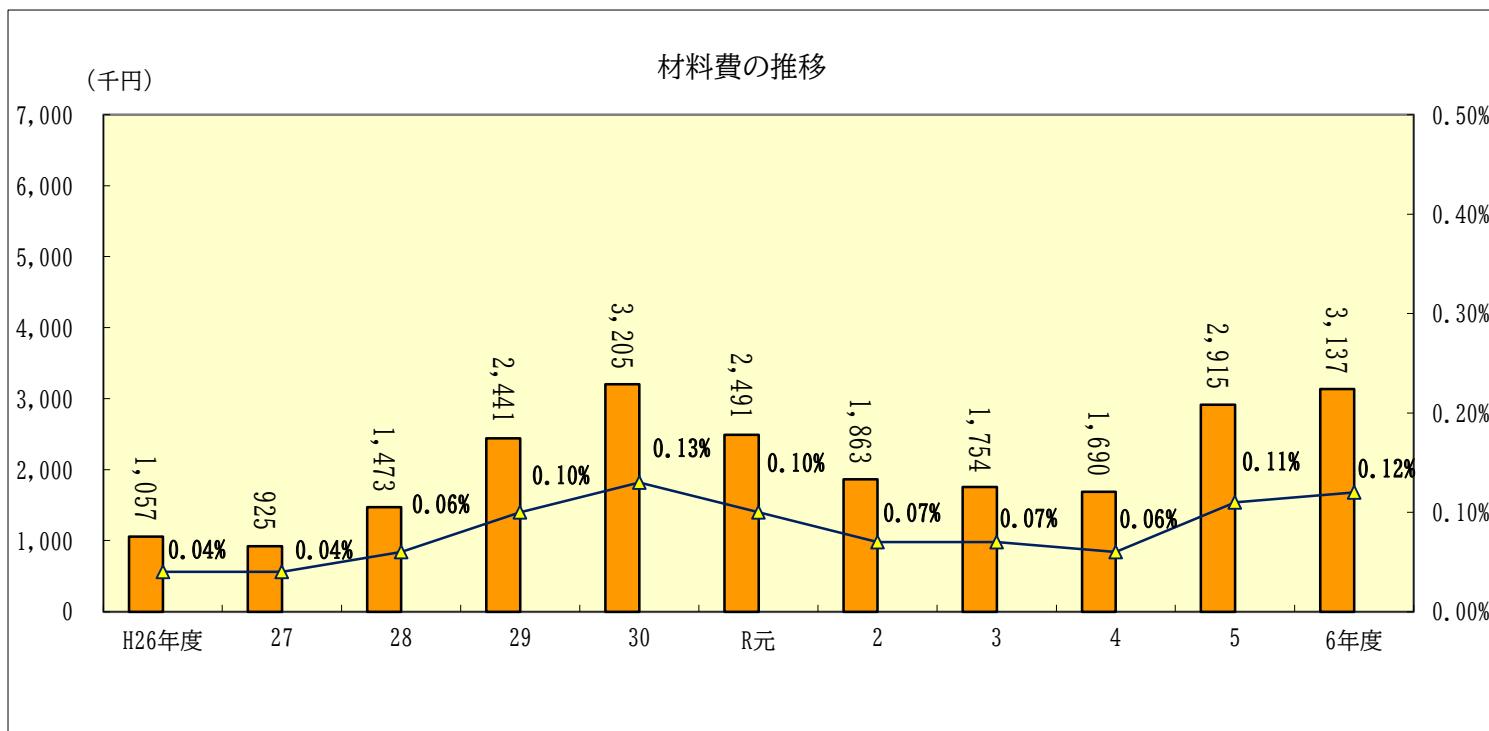
水道施設（ポンプなど）の維持修繕に要する費用のことをいいます。



■ 材料費 ■

● 材料費とは・・・ ●

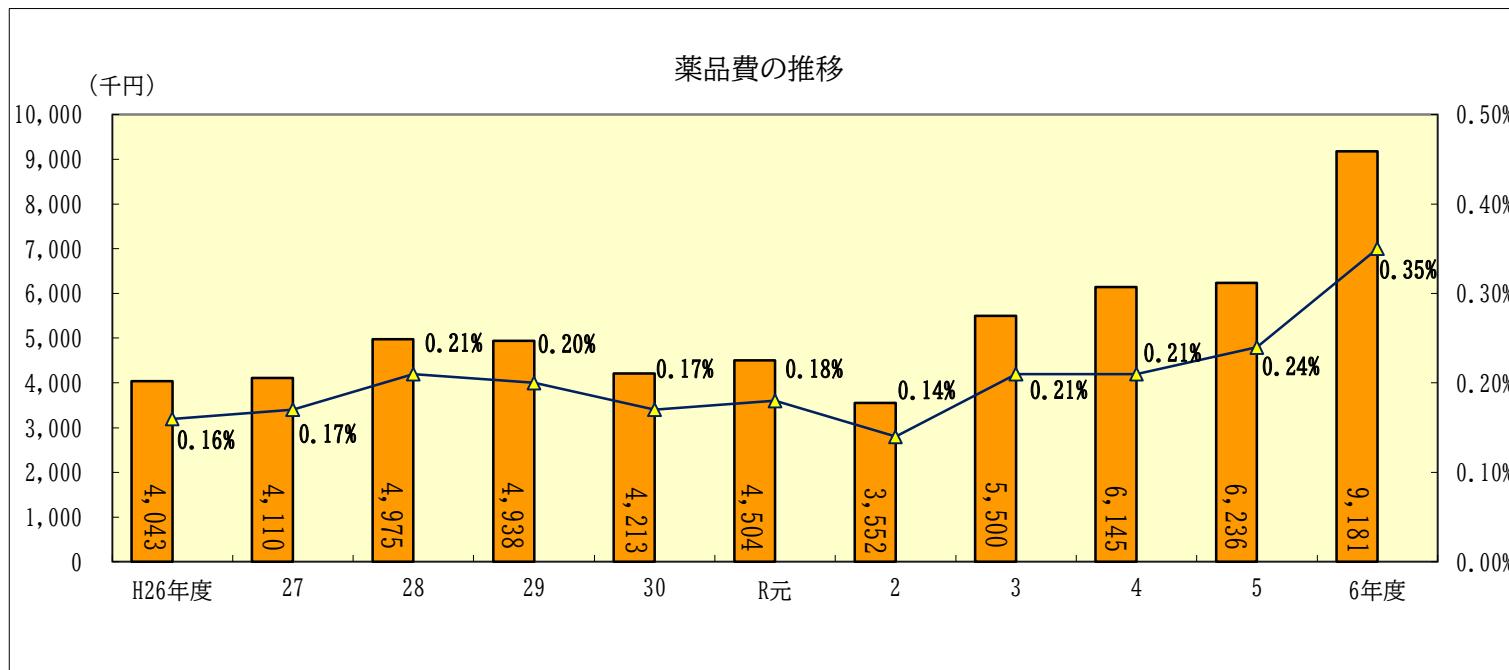
水道施設（配水管など）の維持及び作業に要する材料費のことといいます。



■ 薬品費 ■

● 薬品費とは・・・

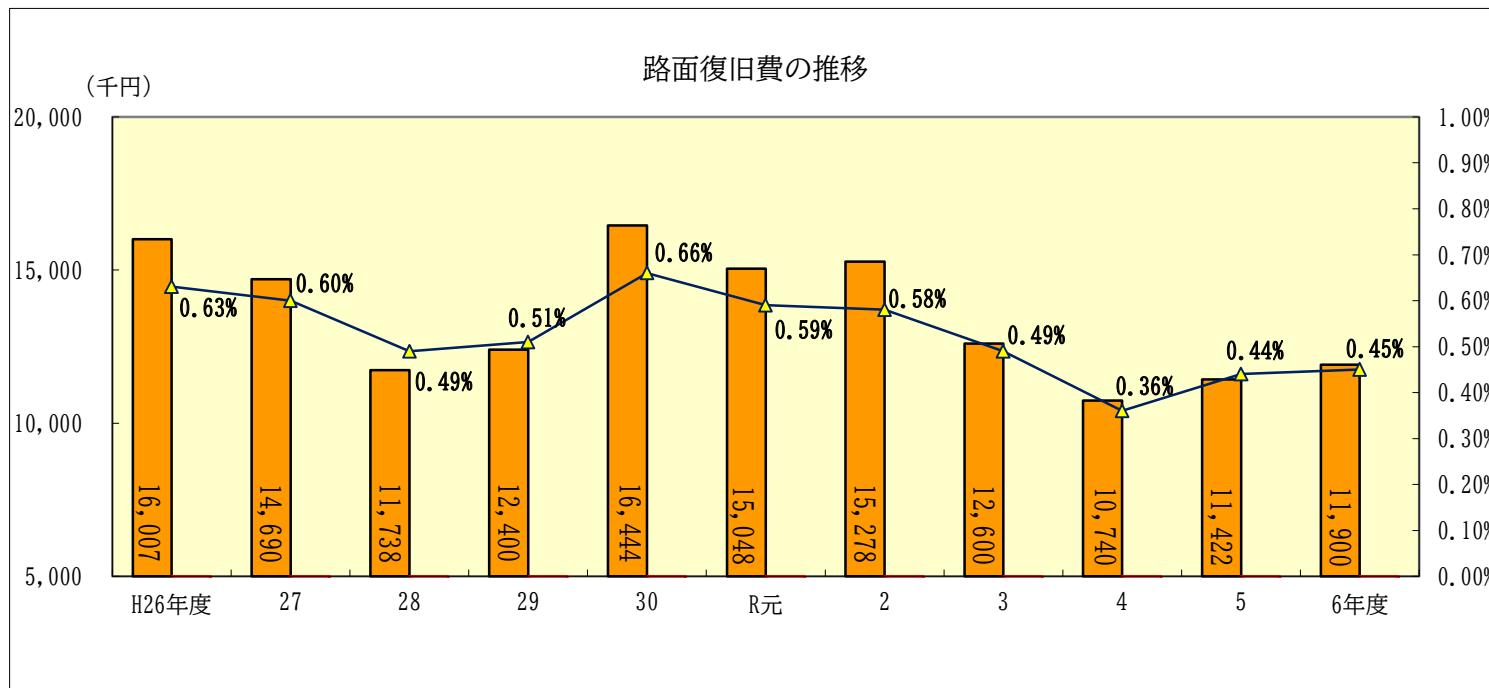
浄水場において川から汲み上げた水を飲料水にする行程で使用したり、配水場で安全な水をお届けするための水質管理などに要する薬品の費用のことをいいます。



■ 路面復旧費 ■

● 路面復旧費とは・・・ ●

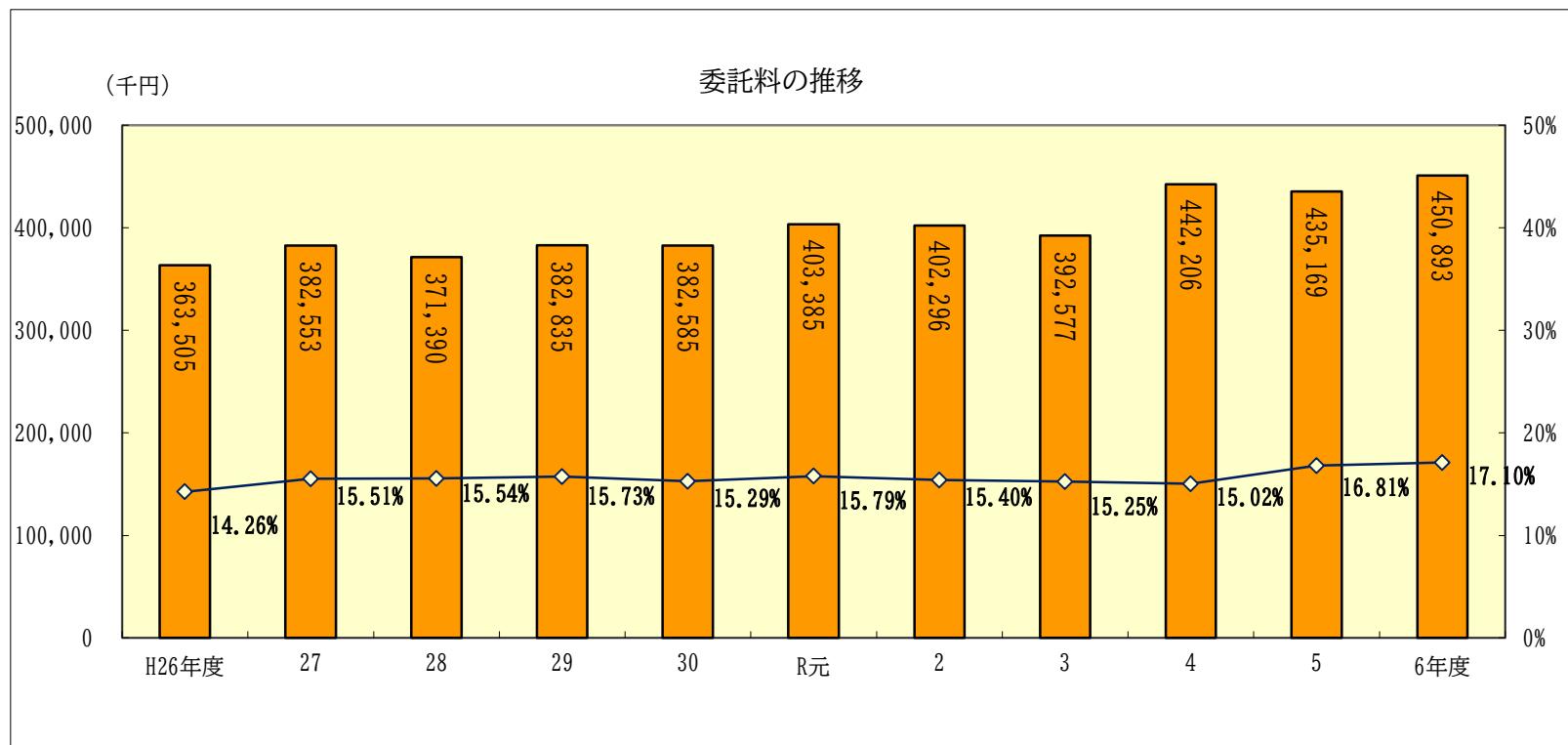
漏水修理等による道路の本復旧に要する費用のことをいいます。



■ 委託料 ■

● 委託料とは・・・

水道事業を経営するための事務や業務などを外部に依頼し、その対価として支払う代金のことです。



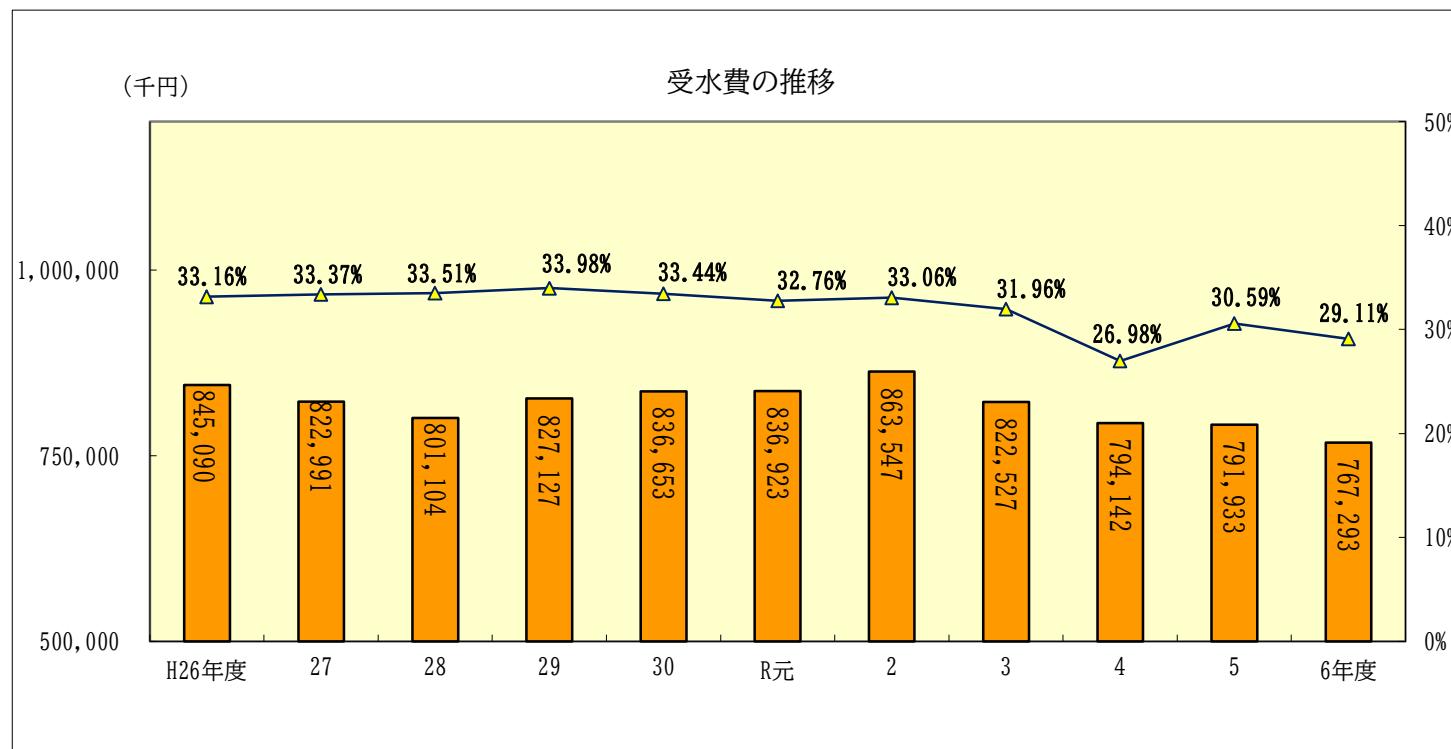
■ 受水費 ■

● 受水費とは・・・

埼玉県営水道から買った水道水の代金のことをいいます。

入間市では、お客様にお届けしている水道水の大部分（80%以上）が埼玉県から買った水で占められています。

他市と比べ水源が少なく、県水（埼玉県がつくる水）への依存度が高いといえます。



■ その他の費用 ■

● その他の費用とは・・・ ●

総費用のうち、次の費用以外の費用のことをいいます。

職員給与費 ・ 支払利息 ・ 減価償却費 ・ 動力費 ・ 光熱水費 ・ 通信運搬費 ・ 修繕費 ・ 材料費 ・ 薬品費
路面復旧費 ・ 委託料 ・ 受水費

